

育友会就職懇談会

育友会(大瀬利行会長)の就職懇談会が今夏、郡山、博多、札幌の3会場で開催され(支部懇談会と併催)、多くの父母が参加した。企業側からの講演、卒業生や4年次生の就職活動体験談などが披露され、好評だった。なお、9月18日には神田キャンパスで関東地区の懇談会も行われた。

東北地区<郡山>



東北地区就職懇談会は8月1日、郡山市のホテルハマツで開催され、福島県内の父母を中心に約50人が出席した。大瀬会長のあいさつのあと、東北最大の食品スーパー(株)ヨークベニマルの加藤雅実常務取締役人事室長が登壇。同社の概要、採用に関する流れを説明し、就職活動への心構えについて「自己実現へ向けて何が不足しているのかを知るために努力をし、それを身につけたいという意欲を持つことが大事では」と語りかけた。続いて、井草啓雄さん(東邦銀行勤務、平15商)が「内定をなかなかもらえず苦しかったが、『考えるより体で動け』をモットーに、面接時には偽りのない自分自身をぶつけていった」と率直さをアピールした就職活動体験を語り、宮代茂就職部長の講演で終了。「企業側、学生側それぞれの就職活動に関する考え方が分かって有意義だった」(文学部女子の両親)、「子供はまだ1年次生だが、いいチャンスなので参加した。今後、話をする時の参考になると思う」(ネットワーク情報学部男子の両親)などの感想が寄せられた。

九州地区<博多>



8月21日、九州地区就職懇談会が福岡市の「博多都ホテル」で、約25人の父母が出席して開催された。九州有数の総合問屋・ヤマエ久野の野中純治人事部長が講演。(1)会社選びのポイント(2)親が準備しておくこと(3)就職活動への援助(4)企業の求める人材像—をテーマに展開し、「就職とは社会的自立への第一歩。まずはフリーターにならず、就職して人間を磨いていくことが大切です」と話した。就職活動体験談では、福岡県にUターン就職をしたサニークリーン九州(株)の久保暢宏さん(平15経営)が「地方の就職情報が少なく大変でしたが、両親や地元の友人に協力してもらって情報を集めました。親も一緒に就職活動に挑む、という心構えを持って下さると、取り組みやすいと思います」と話した。最後に宮代茂就職部長が「厳選採用」「早期採用の自粛」「求人数の増加」の3つをキーワードに、今年の動向を説明した。

北海道地区<札幌>



北海道地区の就職懇談会は8月22日、札幌市の札幌グランドホテルで47人が参加した支部懇談会のあと開催された。育友会の大倉哲男副会長の司会で、企業側から札幌を基点に北海道の主要都市で店舗展開している老舗百貨店(株)丸井今井「人事部の古西順二課長が自社の採用基準を中心に講演。続いて大和ハウス工業(株)に就職が内定している中泉孝彦くん(法4)が、力強い就職活動体験談を披露。最後に就職指導委員会委員長の原田博夫経済学部教授が「本学の就職状況とフォロー態勢」を説明して締めくくった。古西課長は「大卒者は将来管理、経営の中枢を担ってもらうので、総合力、つまり(1)柔軟な発想(2)リーダーの資質(3)統率力(4)コミュニケーション能力(5)笑顔(販売は第一印象)がほしい。また英会話、パソコンを習得しているなどスペシャリストとしての能力もほしい」と話し、会場では熱心にメモをとる姿が見られた。

支部懇談会出席者の声

札幌支部

小泉 潔 さん
小泉 裕子 さん

昨年、支部長に推されました。育友会は懇談会を通して、大学や子供の情報をリアルタイムに聞くことができます。物心両面での学生支援を、今後もぜひ充実してほしいです。息子は小学校からアイスホッケー一筋です。2部から1部への復帰を果たし、最後の年を1部で戦えるので満足していると思います。(商4・男子の両親)

堂前 祐志 さん
堂前 道子 さん

遠隔地にいて、なかなかコミュニケーションを取りにくいのですが、「ニュース専修」を通して、また支部で年5、6回集まって情報交換しています。この懇談会は直接大学からお話を聞けるので、とても有意義です。息子はスポーツ推薦で入学したのですが、スポーツだけでなく、学業と両立させて4年間で自分の将来、生き方を見つけてほしいと思います。(法2・男子の両親)

苫小牧支部

若狭 健次さん

息子はアイスホッケー部です。大学生活のことを知りたいと思い、昨年から出席しています。先生方のお話を聞き、父母の皆さんと交流を深めることが出来、とても有意義な場だと感じました。体育会の学生の授業方法について、検討が行われていると聞き、少し安心しました。「ニュース専修」にアイスホッケー部の活躍をもっと載せてほしいですね。(法2・男子の父)

土井 光博 さん
土井 久美子 さん

今年スポーツ推薦で入学しました。いま生田の第一体育寮にいます。高校の先輩もいて、楽しく過ごしているようです。教職課程も取って、がんばると言っています。専大は他の大学と比べて非常にきめ細かくフォローしてくれていると思います。練習と授業の両立について、状況をお聞きしようと思います。(法1・男子の両親)

川崎支部

川俣 嘉 さん

川俣 絵美 さん

近くに住んでおり、生田キャンパス開催ということで初めての参加です。卒業単位についてご相談したのですが、このまま努力すればまず大丈夫とのお話で、ひと安心です。授業でお世話になった梅本吉彦教授にお会いしたいと娘(絵美さん)も出席し、公務員試験についてのアドバイスをいただきました。厳しい競争率ですが、夢の実現に向けて応援してあげたいと思っています。

(法4・女子の母)

中村 理一郎さん

最近息子と話す機会も少ないのですが、千田傑くん(商4)の体験談で「日常生活での何気ない会話」からスタートすればいいのだとヒントをもらいました。本日のような行事やキャンパス見学をきっかけに、積極的に大学にアプローチしていくことで接点を持つことが出来ると思います。グループミーティングで大学生活の流れや単位修得についても教えていただき、参考になりました。(経営1・男子の父)

博多支部

長本 勝利 さん

長本 美代子 さん

毎回出席しています。長崎に住んでいますが、ゼミでお世話になっている大庭健教授にお礼を申しあげたいと、博多会場に参加しました。面談では、息子の将来についても考えて下さっていると分かり安心感を得られました。「ニュース専修」などで大学の様子を知ることは出来ますが、直接教職員の方とお会い出来るこのような会を、今後も続けていってほしいです。(文4・男子の両親)

藤元 ゆかりさん

昨年出席して、勉学状況や生活の様子などが分かる有意義な会だと感じ、今年も参加しました。懇談会、個人面談を通し、きめ細かい対応に満足しています。他のご父母と情報交換が出来るのも大きなメリットと思います。併催された就職懇談会は、企業の人事担当者や卒業生の話など、大変参考になりましたが、やはり現状は厳しいと感じました。(ネット情報2・男子の母)

熊本支部

吉田 隆治 さん

吉田 恵美 さん

1年次の時から毎回出席しています。子供と話すための予備知識を得ることの出来る貴重な会だと思いますし、教職員の方の対応も親切で、大学に対する信頼感も強まりました。今年は就職活動に向けての準備や、単位取得状況などに関心がありましたが、お話だけでなく、詳細な資料もあり、満足いく情報が得られたと思います。(商3・男子の両親)

早志 正信 さん

早志 恵美子さん

大学生活の様子が分からなかったなので、この機会を生かそうと参加しました。話を聞き、不安を解消出来ましたし、何よりも先生方が学生のことを気遣って下さっていることを感じ、安心しました。グループ面談で他のご父母とも交流を持ち、多くの情報が得られました。来年は所属する学部の先生に直接お話をうかがいたいです。(ネット情報1・

男子の両親)

【ニュース専修2004年9月号3面】